

日 時：令和4年9月29日（木）18時30分～19時40分

場 所：岩館地区構造改善センター

対象地区：岩館

参加人数：11名

■要望、質疑応答

内 容
<p>○大雨の被害について</p> <p>（市民から）</p> <p>平川市の災害が10億円近いということだが、この辺に被害は無かった。どの辺りにあったか。</p> <p>（市から）</p> <p>・市内では柏木町、大光寺、本町、新屋、尾崎、唐竹、広船、金屋、李平、碓ヶ関地区などで被害があった。農地は今年の収穫に影響がないように応急対応していて、すでに工事を発注している。仮工事をし、収穫後に、国、県で災害査定することになる。金額確定後は令和5年に入ってから本復旧する予定である。トータルで10億円近い復旧工事になる見込みである。</p> <p>（市民から）</p> <p>この辺では大きな被害が無かったようだが、防災無線での避難の呼びかけなどがあったのでよかった。町会でも意識を高めるためにシミュレーションができないものか</p> <p>（市から）</p> <p>・どのくらいの降水量で浸水がどこまで広がるかを想定したもので、洪水ハザードマップがある。また、地震ハザードマップもあるので、現在、洪水と地震のハザードマップを合わせる作業をしている。今年度中に作成し、各世帯にお届けする。</p> <p>（市民から）</p> <p>ハザードマップだけではなく、誰にでもわかりやすい映像を作ってほしい。</p> <p>（市民から）</p> <p>平川市内で避難するように計画されているようだが、緊急時には他の自治体の方に逃げても良いように計画できないものか。災害がますます大きくなっているので様々なケースを想定してもらいたい。</p> <p>（市から）</p> <p>・大雨の場合はある程度前もって予測ができ、避難する時間もあるので、自分の身を守る</p>

ように努めて被害を少なくしていかなければならない。自主防災組織で一緒に行動をするなど、普段から地域で話し合っていたくようお願いしたい。

(市民から)

決壊したときが避難するときと考えており、避難するかどうかは個人の判断だと思っているが、どのくらい降ればどうなるかといった情報や避難への意識は大事だと思う。

(市から)

- ・決壊してしまえば、逃げる時間もなく水が来てしまい、垂直避難しかなくなる。最近はや予測精度が良くなっているので、水が来る前に逃げるようにし、まずは自分の命を守ってほしい。
- ・大雨で川が氾濫する場所に対する避難指示は、氾濫危険水位をこえたかどうかで、避難指示を出すことにしている。平川は石川、田舎館豊平橋の2か所の水位観測所の水位で判断している。岩木川は下湯にある上岩木橋、藤崎にある桃田、これらの観測所の水位を注視している。

(市民から)

テレビなどでは、岩館、大坊、原田の避難指示の情報がずっと出ていた。柏木でも浸水があり、唐竹、広船といった標高の高い地区も避難が必要となった場合、どこに避難すればいいのか教えていただきたい。

(市から)

- ・唐竹地区は川に近い田んぼが浸水した。地区においても高いところ低いところがあるので、その中でも高いところに避難してほしい。引座川、杉館地区は避難指示が出ていなかったが、からんころん温泉とその近辺の何軒かは避難していただいた。避難指示は観測所の情報が判断材料になるが、危険な箇所ではピンポイントの対応が必要である。避難指示の発令などマスコミから得られる情報もあるが、現場の状況とは異なる場合もあるため、危機感を持った対応をお願いしたい。

(市民から)

久吉ダムが放水すれば浸水が一気にひろがるのではないかと。ダムの状況については情報が入っていたのか。

(市から)

- ・ダムとの連携はとれている。放流しないという連絡が来ていた。

○職員の対応について

(市民から)

職員の対応がすごく良くなっていて、優しい言葉が増えている。

(市から)

- ・職員がほめられるのが一番うれしい。職員もよく頑張ってくれている。

○市有バスの運行について

(市民から)

老人クラブなどでもう少し遠出をしたいが、市有バスの利用時間である 8 時 30 分から 16 時 15 分を延ばすことはできないか。

(市から)

- ・市有バスは 8 時 30 から 16 時 15 分までの運行での利用をお願いしている。委託業者との契約内容もあるが、公用車であるバスの運行が、民間のバス会社と競合しないように考慮している部分もあるため、ご理解いただきたい。

(市民から)

先日、保育園のバスに小さい子が取り残されて亡くなった事故があった。平川市では送迎や学童など大丈夫か。ヒューマンエラーは誰にでも起きてしまう可能性があるので、車両の方にも対応が必要ではないか。

(市から)

- ・非常に痛ましい事故が起こったと認識している。バスに細工をしてはどうかという意見については、行政での対応は難しいと考えている。
- ・スクールバスは碓ヶ関地域、葛川・小国から尾上中学校、東小、竹館小の通学のために運行している。運転手が人数だけのチェックではなく、名前で名簿をつけている。乗った人、降りた人のチェックは必ずしているので、平成 22 年から運行しているが、1 回も降り忘れといった報告はない。

(市民から)

いくらセンサーをつけるなどの対応をしても限界がある。意識改革のために、例えば週 1 回 30 分でも講習会をやるといった考えはないか。

(市から)

- ・工事関係であれば、工事を始めるにあたって、現場でも安全管理をするよう義務づけられている。スクールバス運行の業務委託の中で、安全管理を契約に盛り込むなどできるものか検討していきたい。校長、教頭、教務主任は年に何回かスクールバスにいっしょに乗るなどしてチェックしている。